

ドキュメンタリー映画

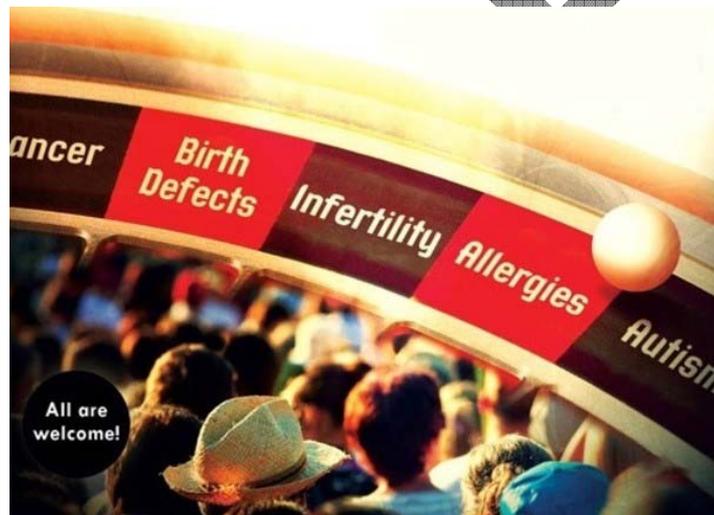
遺伝子組み換えルーレット

いのち
—私たちの生命のギャンブル—

Genetic Roulette

The Gamble of Our Lives

【字幕テキスト】



『遺伝子組み換えルーレット』日本語版製作プロジェクト

<http://geneticroulette.net/>

この字幕テキストの無断転載・コピーは一切お断りします

ドキュメンタリー映画

『遺伝子組み換えルーレット—私たちの生命のギャンブル』について

本作品は遺伝子組み換え食品が引き起こす健康被害の問題を、医学・医療関係者、政府の食品安全審査に関わる研究者、自閉症やアレルギーに苦しむ子どもの親たち、家畜の健康障害を扱った獣医など、多数の証言と科学的根拠(エビデンス)から浮かび上がらせます。そして対処方法も提案します。

遺伝子組み換え問題の専門家として国際的に著名なジェフリー M.スミス氏が制作したこの作品は、米国で注目を浴び、GMO 食品の安全性を問う議論を活性化し、米国社会に大きな影響を与えています。

遺伝子組み換え作物を米国から大量に輸入する日本も決して無関係ではありません。家族の健康、食を私たちの手に取り戻すために、まず何をしたらいいのか、さらには社会の食のシステムをどう変えていけばいいのかを提起する作品です。

ドキュメンタリー映画『遺伝子組み換えルーレット』日本語版製作プロジェクト

原作・脚本・プロデュース・監督:ジェフリー・M・スミス
原題:Genetic Roulette: The Gamble of Our Lives
制作:Institute for Responsible Technology(IRT) / 85分 / 米国 / 2012年

翻訳監修●印鑰智哉

翻訳●井崎友美/河野究一郎/竹内とし江/西文子/松岡竜大/メノン恵美子

監修協力●安田美絵

字幕●井草葉月

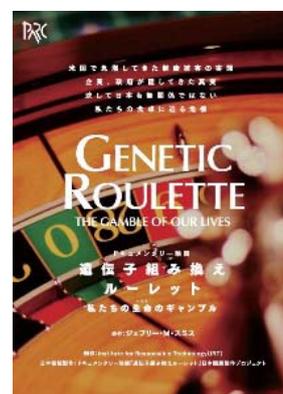
編集●脇元寛之

制作統括●内田聖子

企画●オルター・トレード・ジャパン(ATJ)

協力●ルナ・オーガニック・インスティテュート/モーションギャラリー

制作●特定非営利活動法人 アジア太平洋資料センター(PARC) 2015年



2015年 / DVD / カラー / 85分 / 片面1層 / Regionコード: ALL
音声・英語 字幕・日本語 価格:本体 4,000円+税(図書館価格 15,000円+税)

★DVDのお申し込み先★

アジア太平洋資料センター(PARC)

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 1-7-11 東洋ビル 3F

TEL.03-5209-3455 FAX.03-5209-3453

E-mail: office@parc-jp.org <http://www.parc-jp.org/video/sakuhin/gmo.htm>

【映画の各チャプター紹介】

1. GMOとは？



異なる生物の遺伝子を掛け合わせる技術によって生まれる GMO(遺伝子組み換え生物)。食物の遺伝子組み換えには除草剤耐性作物と殺虫剤生成作物の2つがあります。これらが作られる過程で、予期せぬ副作用が生じるのです。

2. GMOと健康被害



米国では 1990 年代後半から遺伝子組み換え大豆やトウモロコシの生産が拡大してきました。それに伴いアレルギー、糖尿病、自閉症、不妊、出生障害をはじめとする慢性疾患が急増。遺伝子組み換えとの関係を探ります。

3. 家畜に何が起きている？



遺伝子組み換えの飼料を食べている家畜やペットにも出生異常や不妊、多くの健康問題が報告されています。飼料を非 GMO に変えたことで劇的に回復した畜産農家の声が数多く紹介されます。

4. 子どもがあぶない



米国政府が無料で配布している粉ミルク。大豆由来の粉ミルクから驚くべき数値の遺伝子組み換えが発見されました。自閉症の子どもを持つ母親たちは「食べ物をオーガニックに変えたら症状が回復した」と語ります。

5. GMOの神話、科学者への攻撃



遺伝子組み換え作物の危険性を研究、発表した少数の独立系の研究者たちは、バイオ企業からの圧力や脅し、研究資金の中断などのリスクを負っています。映画では職を追われた勇気ある研究者たちの証言の数々が語られます。

6. インドと南アフリカで起きていること



モンサント社がインドに広げた遺伝子組み換え綿(Bt 綿)は、農民や家畜に深刻な健康被害を引き起こしています。多くの農家が高い種子と農薬を買いますが、ヴァンダナ・シヴァ氏は「借金漬けで自殺した 25 万人の農民の4分の3が Bt 綿栽培地域だ」と語ります。

7. さて、どうする？



米国では遺伝子組み換え食品表示を求める運動が全国規模で広がっています。その主役は母親・父親たち。周囲の人たちに語りかけ、GMO 食品を避けることで企業を変え、農業を変えられます。希望は日々の食卓から、始まります。

ナレーション	<p>アメリカ… 豊かで… 革新的… 起業家精神に富み… 多様で… 進歩的で… 病気の国…？ アメリカでは 他の先進国より 病気が多く 年々ひどくなっています 慢性疾患を3つ以上持つ人は 90年代半ばから倍増しました 乳児死亡率と寿命の世界ランキングも急落しました 原因はいろいろあります あなたの目の前にもあるかもしれません</p>
クレジット	<p>遺伝子組み換えルーレット—私たちの生命(いのち)のギャンブル— 監督 ジェフリー・M・スミス 語り リザ・オズ</p>
ナレーション	あらゆる慢性疾患が ここ 20年で激増しています
ドン・ヒューバー 医学博士、パーデュー大学 植物病理学 名誉教授	<p>これは異常な事態です 30～50年前にはなかったことです</p>
	以前は珍しかった病気が蔓延していて その規模がすごいのです
ジェフリー・M・スミス 責任ある技術者協会創設者	<p>病気はひどくなるばかり 何が変わったのでしょうか？ 確実に変わったのは 食べ物です 劇的に変わったのは食べ物の遺伝子操作です</p>
	昔は食べ物は「食べ物」でしたが 今は「科学実験の材料」です
デニス・クシニッチ 下院議員、元大統領候補	<p>米国では遺伝子組み換え作物の畑が 何億エーカーも広がりますが 知らない人が多いのです</p>
	普通の消費者は残念ながら 自分の生活や子どもの学校で忙しすぎて 遺伝子組み換え食品のことを何も知りません
デビット・プロナー ドクタープロナーマジックソープ 社長	<p>オバマ政権下の農務省はバイテク企業に逆らえません 他の政権と一緒に ここ10年でどうにかしないと 主な穀物はすべて遺伝子を組み換えられてしまいます 知らない間にね</p>
GMOと何か？	
	GMO=遺伝子組み換え生物
ジェフリー・M・スミス 責任ある技術者協会創設者	<p>ある生物のDNAを 他の生物のDNAに押し込み 異なる生物の遺伝子を 掛け合わせるのです たとえばクモの遺伝子をヤギに入れます ヤギの乳からクモの糸のたんぱく質を抽出して 防弾チョッキを作るためです 本当の話です また 牛の遺伝子を豚に組み込み 牛皮をもつ豚を作ります ヒトの遺伝子をトウモロコシに組み込み殺精子剤をつくります 食物の遺伝子組み換えには 主に2つのカテゴリーがあります 一つめは除草剤耐性作物 除草剤でも枯れません 二つめは殺虫剤生成作物 作物が有毒な殺虫剤を生成し 虫が食べると消化器に穴があいて死にます 生物の垣根を超えて 遺伝子を組み換えて 進化の過程では生まれなかった 新しい生命体を作るのです</p>

GMOはどうやって作られる？	
ロビン・A・バーンホフ 医師、バーンホフ先進医療センター医長	遺伝子組み換えは精密科学だと思われがちです 顕微鏡を使って操作するイメージです
ジェフリー・M・スミス 責任ある技術者協会創設者	しかし組み換え過程では 思わぬ副作用が起きますのです 遺伝子を何百万も複製して銃に詰め 細胞が入ったプレートめがけて撃つのですから その細胞のクローンが植物になります
アーデン・アンダーソン 医学博士、医師、公衆衛生学 修士、『真の医療、真の健康』 著者	遺伝子を入れ込む際に よく細菌が使われます
ジェフリー・M・スミス 責任ある技術者協会創設者	遺伝子の挿入やクローン過程で 重大なダメージが生じます DNAの周囲に数千もの突然変異体が生まれ 自然の植物とは発現レベルが変わる遺伝子も生まれます そのせいで予測不能な副作用が生じるのです
アーデン・アンダーソン 医学博士、医師、公衆衛生学 修士、『真の医療、真の健康』 著者	生物物理学の観点から 遺伝子配列全体の遺伝子発現パターンを見ると それは異物で 自然界には存在しません 免疫システムは電磁気センサーシステムなのですが 大豆やトウモロコシなどの組み換え遺伝子の配列を感知すると 「こんな配列は見たことがない」 「自然界に存在しない異物だ」と認識して攻撃します 炎症反応を伴いながら その配列を攻撃するのです
マーサ・グラウト 医師、アリゾナ先進医療センター医長	私たちが扱っている病気のほとんどが 炎症に起因しています 腸の炎症が多いです 腸は GMO食品を含むあらゆる食物と身体の接点だからです
ナレーション	1996年に 遺伝子組み換えの大豆とトウモロコシが 米国で導入されました それ以来 腸の炎症に関連した消化器疾患が 米国で増えています ただの偶然でしょうか 炎症は 消化に関係ない疾患も引き起こしています
マーサ・グラウト 医師、アリゾナ先進医療センター医長	アレルギーや 自己免疫疾患にも注目してください 炎症に関連する すべての疾患も同じです 心臓病 腎臓病 糖尿病 甲状腺疾患 キリがありません
GMOはどのように食卓に上るのか	
マイケル・テイラー 米国食品医薬品局食料副長 官	安全で栄養のある食べ物の供給は 政府や米国食品医薬品局(FDA)の基本的な義務です 公衆衛生や健康のために 一番大切なのが食べ物です
ジェフリー・M・スミス 責任ある技術者協会創設者	1992年作成のFDAの政策書では GMOは自然界の食物と変わらないとうたっています 安全性の研究は必要ないと ところが 1998年の訴訟で 4万4000頁もの機密文書が明るみに出て 新事実が発覚したのです
スティーブン・M・ドラッカー 弁護、FDA 訴訟発起人	4万4000頁の文書を読み ショックを受けました FDAは1992年から 嘘を繰り返していたのです 「科学界の統一見解としてGMO食品は安全です」と言っていましたが 実はFDAの科学者たちの統一見解は真逆でした 「とても安全ではない」と